学校番号	315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	文系数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューサポート数学Ⅰ・A　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では副教材を用いて演習する。内容は網羅的であるが、既習事項であるため、復習よりの学習になる。一方、発展的な内容に取り組むこともある。生活の中で数学がどのように活用されているか、その片鱗に目を向けていく。
・問題について、まずは自分で考えることを推奨している。解答を配布するが、それはあくまで解答を得られるまでのプロセスを理解する一助にするためである。
・常に事象の背景を考える姿勢を持ち、事象を分析する技能を養ってもらいたい。

2　学習の到達目標

・数学Ⅰ・Aの基本的な内容を理解し，その習得と技能の習熟を図る。
・事象を数学的に考察する力、数学的に表現する力を養う。
・数学の良さを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に 学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・Aの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や評価を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数と式	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解	a:因数分解の公式や文字の置き換えを利用して因数分解をすることができる。 b:式の展開は分配法則を用いることで必ずできることを理解している。 c:式の変形や整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
		不等式の性質 一次不等式 絶対値を含む方程式・不等式	a:不等式における解の意味や連立不等式の意味を理解し，一次不等式や連立不等式を解くことができる。 b:身近な問題を一次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 c:不等式における性質や解の意味と等式における性質や解の意味を比較し，考察しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
	集合と論証	集合 命題と条件	a:集合や命題に関する基本的な概念を理解し，命題の真偽を決定することができる。 b:命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断し，命題の証明をすることができる。 c:直接証明法では難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると証明できることに興味・関心をもち，実際に証明しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
	二次関数	関数とグラフ 二次関数のグラフ	a:平方完成して得られた式から軸や頂点を読み取ることができる。また、二次関数のグラフから情報を読み取ることができる。 b:二次関数のグラフをかくことができる。 c:放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート

	二次関数	二次関数の最大・最小 二次関数の決定	a: 二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 b:定義域やグラフが動くときの最大値や最小値について，考察することができる。 c:日常生活における具体的な事象の考察に，二次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
2		二次方程式 二次関数のグラフとx 軸の位置関係 2 次不等式	a: 二次関数の解とグラフとの関係について理解して 2 次不等式を解くことができる。 b: 二次関数のグラフと x 軸の共有点の個数や位置関係を，判別式の符号から判別できる。 c: 二次不等式を解く際に，グラフを積極的に利用しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
		三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張	a:三角比の相互関係を利用し,三角比の 1 つの値から残りの値を求めることができる。 b:鋭角の三角比を鈍角の場合に拡張して考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。	確認テスト 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
	順列と組合せ	集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ	a:順列や組合せの意味を理解し,順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:ベン図を利用して集合を図示し,集合の要素の個数を考察することができる。 c:順列と組合せの関係を明らかにすることができる。	レポート 定期考査	プリント レポート 定期考査	振り返り シート
3	確率	事象と確率 確率の基本的な性質	a:確率の意味や基本的な法則について理解し，確率を求めることができる。 b:複数の事象の起こりやすさを,確率を用いて比較することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などに確率を活用しようとする。	レポート	プリント レポート	振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度